



DAMANHUR
ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ



《 第47 夏号 》

発行 ダマヌール日本
発行日 2019年7月8日
<http://www.damanhur.jp>

POPOLO

夏号

先住民族に学ぶ



©Associazione Templi dell'Umanità

はじめに

今から10年前の2009年に、ダマヌールのスピリチュアルリーダーのファルコは、世界経済フォーラムの元会長ローレンス・ブルーム氏との対話で次のように語りました。

『我々の惑星の生態系は破壊に向かっていて、引き返すことのできない臨界点は、すでに通過している。今は、集合意識の再覚醒のみが変化を起こす唯一の可能性です。それは、我々が真に方向を変えることで、人間性を表すことができるからです。今日、我々の生き方を変えるための良い意図を持った宣言がたくさんありますが、実際には、大多数の人々は彼らの習性をなんら変えてはいません。地球は、もうグローバルマーケットを受け入れられません。この売買というメカニズムは、今日の人間性を支配するものです。我々は、地球の知性(それは擬人化してガイアと呼ばれているものではなく)に対して我々人間が

真に自分たちの習性を変えたことを示す必要があります。逆に、もしネズミの群れのようにになにもかも破壊する行動を止めなかったら、地球は疫病と化してしまっている人間を駆逐することを決定する可能性が高いです。地球という知性ある命が、我々との交渉のために時間を無駄にすることはしないでしょ』

そして、ファルコは地球の知性とコミュニケーションできるのは、地球の民族の文化の豊富さと多様性を通してのみと指摘していたのです。

先住民族とは

地球にはさまざまな場所に住む先住民族が存在し、個性豊かで多様な文化や生活習慣や思想が語られたり、絵本や書物で表されています。みなさんもアイヌやイヌイト、ホピやマサイなどの先住民族の名前はご存知だと思います。

国際連合広報センターによると、現在少なくとも

5000の先住民族が存在し、住民の数は3億7000万人を超え、五大陸の70カ国以上の国々に住んでいると言われています。それぞれの民族は言語・人種・歴史・文化・生活様式などを共有し、同族の意識によって結ばれています。そして、少数であるために在住する国の政策決定などから除外され、従属的な立場におかれています。さらに、多数派の人々と異なる文化、風習、言語やアイデンティティーを持つために、強制的に多数派に同化させられ、搾取され、差別や弾圧の対象にもなっていました。

2007年9月の「先住民族の権利に関する宣言」では「先住民族は、自らの政治的地位を自由に決定し、ならびにその経済的、社会的および文化的発展を自由に追求する」と自己決定権が明記されましたが、この宣言には法的な拘束力はなく、国により実現するための取り組みは一律ではありません。

また、国連は今年、2019年2月から1年間かけて「国際先住民族言語年」プロジェクトを開始しました。世界の約7,600の言語のうち、消滅の危機的状況にある言語は2,680言語に及ぶと言われています。日本では「極めて深刻」がアイヌ語、「重要な危険」が与那国語、八重山語(注1)でユネスコによって消滅寸前の言語と指定されています。話せる人が100万人いれば100年間程度は安定的と言われ、その計算から22世紀始めには現存する言語の半数が消滅すると予測されています。

熱帯雨林の花からガンの治療薬が見つかったとき、その花の名前は消滅寸前の言語だったそうです。ゴールドマン環境保護賞を受賞した民族植物学者のポール・アラン・コックス氏は、ポリネシアの薬草医は土地固有の病気について非常に多くの用語を持ち、ヨーロッパから伝えられたものについては別の異なる用語をもっていることを発見しました。この高度な知識は彼らだけに見られるものではないそうです。絶滅危惧言語では、植物相と動物相に関して、西洋科学で知られているより何百種類も多い分類がされていることがよくあり、フィリピンのミンドロ島に住む焼畑農業をする部族、ハヌノオ族は土の種類について40の表現をもち、東南アジアでは



(注1) 与那国語・八重山語は、国際機関には言語として扱われ、日本では方言という扱いです。

森に住むヒーラーが6,500種類もの薬効成分を特定していると言われます。

このように先住民族は在住する土地と密接な繋がりを持ち、それは文化の形成過程で物質・精神の両方に影響を及ぼし、交流や体験を通して何世代にも渡り専門的知識を蓄積していることがあります。



ダマヌールの精神的な民族

一方、ダマヌールでは創立10年の1986年に、精神的な民族が誕生しました。精神的な民族の核になるダマヌールの在住市民は、全てが知識の道を行くメディテーションの学校の生徒であり、宇宙の精神的なエコシステムとの直接的な繋がりを持ちます。そして、宇宙の全ての次元に存在する命の形との共存や共同を実用的に実現することを前提とする人生を生きるために、各自の精神的な進化に日々取り組む人たちです。独自の知識、文化、テリトリー、歴史、伝説、芸術、言葉、民族につながる神々との共同、と言う「民族の実存」に関わる不可欠な条件をこの時空に刻み、実態がある集合体「民族」として新たに誕生したものです。

ダマヌールの宇宙の創造を研究する前提は、私たちの宇宙は物質の中での体験を通じて、精神的な進化という付加価値を生み出していくためのフィールドとして創造されたものと捉えています。そして、私たち人類は、宇宙に存在する多種多様の命の中で、現段階では宇宙の精神的な進化という結果を出すための主要な代表となっているのです。

また、ダマヌールの人生哲学である、人間はそれぞれの魂の中核に、宇宙全てを創った起源的な神のかけらを宿した存在であることを基本とします。起源的な神は鏡が割れたようにバラバラになり、かけらとして私たちの中に入ったのですから、私たちは外の神に依存することなく、自分の人生の主導者となって内なる神に目覚め、その意識を覚醒させることをめざします。私たち一人一人はこの宇宙で唯一無二の存在であり、誰一人欠けてもバランスが変わります。また、それぞれの人の違いは豊かさであり、違いを理解し自分の中に受け入れて複雑さを増すことは、精神的進化を進める上で大切な要因になります。

精神的な民族はエネルギー、才能、体験、共通の

理想などを留める生きたコンテナとなり、この民族に参加する全ての人々の進化を支えます。そして、地球上のさまざまな民族が再び復興(ルネッサンス)を実現し、地球上で“イルミネーションに達する”人間のグループを創出する、調和的で偉大な人間だった頃の文明をもたらし、私たちが元々持っている神のかけらの部分である精神的な知識や才能を広める最初の種になるでしょう。

精神的民族は血縁や国境を超えて、その趣旨に賛同する人なら誰でも参加することができます。ダマヌールと異なる場所に住んでいても、異なる環境や経歴を持っていても問題はなく、各自の意志によって精神的な繋がりが活性化されます。参加を希望する方は、どうぞお知らせください。共に学びながら自分の内面を変えて、私たち人類の課題である精神的進化をめざしましょう。

永続可能な未来のために

ファルコは生前、人類は地球のことを、資源を搾取する対象と捉えている。もはや科学技術では変革をもたらせない。人類の未来への存続のために役立つ行為は「マジックな行為でしかない」と一般公開された場で語ったことがありました。このマジックな行為というのは何でしょうか？

それは単に魔法ということではなく、ダマヌールでは現代科学で説明できないことをマジックという言葉で表現します。先住民族は少数であるために、在住する国から迫害を受けた歴史を持っていますが、それでも守り続け、アイデンティティーに裏打ちされた文化や言語や独自の生活様式があります。そして、テリトリーに住む自然の精霊、さまざまな命の存在たち、自分たちの民族の保護や繁栄のために繋がりを持った神々、これらの交流や共同を実現してきました。また、それぞれに受け継がれた精神的な知識や知識に基づいた儀式を脈々と継続しています。

人類が集合意識の再覚醒に至る可能性は、精神的民族と多様な先住民族同士の助け合うネットワークが地球上に広がり、調和的な生き方や叡智を分かち合い、マジックな儀式やオペレーションを尊重することによりもたらされるものではないでしょうか。先住民族たちの生きたエネルギーや蓄積された知識と独自の精神的付加価値は、欠かすことのできない重要な鏡の再構成のピースとなることでしょう。

先住民族に関心を持ち、彼らの権利を尊重して保護することは、それぞれの民族の体験から生まれた価値観への尊厳を示し、人類全体にとって大切なことです。

そして、私たちの宇宙は「多種多様」が特性です。生物多様性で言えば、地球上には人、動物、植物、大腸菌やさまざまなバクテリアなど、多様な命の生

物が存在しています。これらは他の生物と直接的・間接的に繋がりが合い、壮大な命の循環を作りだしていますが、その循環を担う多種を人類自らが絶滅に追いやっている危機的状況が眼前にあります。それを今、転換しないと「疫病」と化している私たち人類は、地球という大きな命の集合体の中で、起源的な神のかけらを宿して精神的進化を果たす種としての可能性を失うことになるのです。

また、ダマヌールで世界的に行っている「木々との進化に向けて人類と共同する集合意識を活性化していく」木の活性化オペレーションは、多くの知識を宿している木々と人類がお互いの進化に向けて共同関係を結んでいく作業で、これにも取り組む重要性があります。

ダマヌールで言われている「ポジティブさ」は、99%不可能と思うことでも、みんなの団結とやり遂げるという信念と情熱で1%の可能性にかけることです。ダマヌールはそうにして不可能を可能に変える現実を作ってきました。私たち人類の危機的状況に際しても、転換できるとポジティブに考えて先住民族に学び、あなたも生き方を変えてみませんか？



ダマヌールの精神的な民族らしい行動とは

- ・自分自身や周囲の人やさまざまな出来事に関しても常にポジティブな考えを送りましょう。
- ・この民族に参加する色々な人たちのことを自分の兄弟のように考えます。
- ・一人一人の違いをより活かすために、違いを尊重し、信頼して一つになる、団結に基づく関係を維持します。
- ・自分以外の人や自然や色々な生き物がそれぞれ持っている精神的なもの、その価値を大事にします。
- ・自分の内面を探究しながら、変化し続けることを大事にします。
- ・一人一人が違ったところで、違ったやり方で自分の精神性を探究するので、それぞれの違いを大事にした価値を認めた関係を築いていきます。
- ・地球や自然を守るためのエコロジカルな探求を大事にし、汚染や浪費や無駄を減らすようにします。
- ・この民族に参加するための基本的なアイデアや理想について、各自がそれぞれの場所で話したり、活動してデモンストレーションしましょう。

樹の意識の活性化

群馬県赤城^{みよさわ}三夜沢神社と古木の活性化

ゴールデンウィーク最終日、赤城三夜沢神社へ木の活性化に出かけました。活性化経験者の話では、木々からメッセージを受け取ったことや、悩み事に対してのアドバイスを貰えると聞いていたので、木々と対話をしながら行う優雅なイメージを抱いていましたが、現実には竹藪をかき分けながら山の中に入り、へびに怯えながらクモの巣と土にまみれ汗だくの活性化でした。

活性化の最中は目標本数達成に向け、無我夢中に動いていたので、木々の変化に気がつきませんでした。お昼の食堂へ向かう途中に参加メンバーの撮った参道の松並木写真が光を放っていました。

太陽が出ている時なら何も感じない写真ですが、その日は降水確率70%の曇り空。曇り空の中、光を放つ木々の写真や、まるで花の精霊が姿を表したかのように光を放つ草花の写真を見ると、木々や精霊から何かメッセージを送られているのだろうと感じました。

特にこれと言ったメッセージを受け取ったり感じ取ることはできませんでしたが、翌日は自宅付近の木々達がキラキラと輝やいて見え、ありがとうとお礼を言われているような、私も活性化をしてとラブコールを受けているような不思議な感覚でした。(K.Y.)



赤城神社 樹齢300年

赤城神社の境内は、樹齢が1000年以上の古木と、300年以上の樹々が密集した特別な空間で、自然の優しさと神々しさを感じる素晴らしい場所でした。4人中、3人にとって初めての活性化でしたが、セルフイックペインティングとのつながりや祈り、水のオファーなど、一つ一つをきちんとこなして、一生懸命活性化しました。

普段運動不足の私ですが、木の活性化の時は筋肉痛にもならず、逆にとても元気になります。そして共に行動することで、仲間の新しい一面を発見することができます。

これまで見たことがないような巨木とのコンタクトや



薄根の大桑 樹齢1500年

今回は群馬県内に点在する数々の古木を中心に活性化をしました。見た目だけでは樹齢は図りきれませんが、圧倒的な存在感を目にした時の一瞬が頭から離れません。木の方から感動が返って来たりもします。その時は心が温かくなりお互いに称え合いました。本当にとんでもない事です。

一度、目に止まった木は活性化せずにはいられなく、体が勝手に向かっています。純粹にひたすらやり切りたいという思いがありました。そして仲間一人一人の汗と笑顔が最高のエネルギーです。次回も頑張ります。(M.S.)

木へのプラノセラピー

4月上旬に木の活性化に行きました。昨年の台風で傷んだ桜、切り倒された幹も多く、プラノセラピーを行いました。すると、台風のと看に目の前の木津川の水位が高くなって、流れが早い映像が見えたように感じました。とても怖かったという感情と、必死にみんなで堪えたけれど風であおられて折れてしまったと伝わり、このような姿になったけれど、根っこで河川敷を守っているという思いも伝わってきました。昨年は世界中で樹々たちが苦しく、大変な体験だったことを改めて教わりました。(J.M.)



莊田神社の大イチョウ 樹齢1500年

プラノセラピー体験記

プラノセラピーを続けて

2017年9月より今日までの1年9か月間、クリニック内の研修室で「セラピークラブ」を月に2回開催し、プラノセラピーのヒーラーのお二方に交互に来ていただいています。2時間程度の中に希望者数人にですが、皆さまとても気持ちが良いと言われます。お顔色や表情がとても良くなります。癒しが深く、リラックスし、眠ることさえあります。心も温かく落ち着きます。繊細な感性の方はより多様な変化に気づかれます。客観的に明らかな良い変化を見ていて感じます。

この「セラピークラブ」では、いつも素敵なシンクロシティィーがいっぱい生まれています。必要必然な情報交換や出会いが、ティータイムを楽しみながら自然に現れています。

当初から今に至るまでのプラノセラピーの常連3人(含私)について言いますと、よりポジティブな、その人らしい、主体的な生き方になっている！と、感じます。より健康で明るい心持ちで人生が展開しています。(こうした変化を感じる感性は必要です。)

プラノセラピーは、肉体・マインド・魂という人間の存在全体に同時に働きかけ、必要な部分に繊細な賢さを持つプラナーナのエネルギーが流れてバランス

を整え、エネルギーに満たされて前向きに生きることができるようになると、聞きました。そのことが実際に真実であると感じるこの頃です。いくつかのエネルギー療法をかじってきた私ですが、プラノセラピーは別格であるような気がしています。(R.H.)

*この体験記の内容は個人的な感想であり、ヒーリングの結果を保証するものではありません。

ダマヌールのヒーリング プラノセラピー

プラノセラピーはダマヌールの自然医学の中でも基礎となる安全でパワフルなヒーリングです。

オーラ、肉体、魂の全てに良い影響を及ぼし、特にバランスの崩れている部分に集中して流れ、全体のバランスを取り戻します。体も心も美しく健康でいたい、スピリチュアルな成長がしたい、夢を実現させたい方にプラノセラピーをお勧めします。

プラノセラピーは、神戸センターとイピアルの他、各地で受けられます。「体験会」も各地で開催しています。詳細は下記までお問合わせください。

●プラノセラピーに関するお問合せ先

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

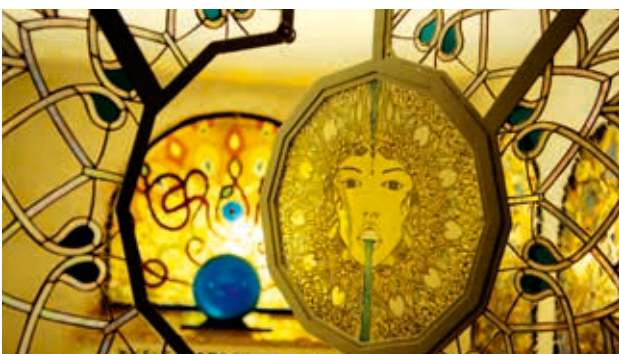
052-683-8233

jpjal@crux.ocn.ne.jp

あなたの豊かな人生のために「夢の道Ⅰ」セミナーへのお誘い

あなたは、夜眠っているときに夢を見ますか？私たちが眠っているときに見る夢は、人間の一つの能力ということをご存知でしょうか。小さい頃はよく夢を見たけれど、大人になってからは夢をあまり見なくなったという人もいるかもしれません。でも、誰でも夢を見ていても覚えていないだけなのです。

私たちが眠っているときに見る夢はとても重要で、人生をガイドし精神的進化を導きます。先人たちはこのことをよく知っており、夢でいろいろなことを占ったり、夢で見たことを実用的に使ったりしていました。



私たちが初夢に1年の吉凶を占ったこともあるのではないのでしょうか。

夢は大きな可能性を秘めています。一般には認識されていません。夢の中では、あなたは空を飛ぶことも、望む場所に行くことも、願いを叶えることもできます。それが、病気の治癒だったり、将来のなりたい自分の姿であっても、実現した事例はたくさん存在するのです。

私たちの友人で、子どもの時に何回も繰り返してみた夢が、実は過去のアトランティスの記憶だったと分かりました。また、他の友人は、夢で木から会いに来て欲しいと誘われて旅をしたら夢に出てきた木と出会ったのです。目覚めて活動している次元の現実と、夢の次元の密接に関係していることが、確認されています。

人類にもたらされた、夢をみるという能力を眠らせたままにしておくのは惜しいと思いませんか？ 夢の能力を開発し、使いこなしてみませんか。

2019年7月20日・21日(土日)、ウインクあいちでお待ちしています。お申込みは7頁を参照してください。

セミナー体験記

◇「内面の答えを見つける」を受講して

別々の病院に入院した父と母を抱え、幼い子ども2人と、旦那は単身赴任という状況で介護に行き詰っているときに、ちょうどこのセミナーがあり、初めてアンティロペさんのセミナーに参加しました。

セミナー中にもさまざまな気づきがあったのですが、セミナー終了後、自分でワークを続けていた時に、母や父の治療方針や退院後の生活について、自分の中で質問を明確にすると、次々とシンクロや新たな解決策が示され、その質問に対するレスポンスの速さに驚きました。前日に、ペンデュラムで質問したことが、次の日には具体的な解決策が起きてくることも度々ありました。

そして、母は5年に遡って医療費の還付を受けられる事実を知ったのですが、病院のソーシャルワーカーがたまたま30年ぶりに会った中学の同級生で、関係各所に掛け合ってくれて、不思議なシンクロが起り無事に医療費の還付を受けることができました。これは、ペンデュラムにセミテンポラーレ(時の種)の技術が封入されていることを垣間見た出来事でした。

母は3月13日に退院しショートステイを利用して、その間に孫たちと一緒に過ごすことができました。しかし、15日に再入院して19日に亡くなりました。ペンデュラムの助けを借りながら、一つ一つの問題に真摯に向き合っ、その時その時出来る最善の選択をしたお陰で、介護をやりきったというすがすがしさがありました。日常の中に母の不在を感じるたびに寂しい気分にはなりますが。

次は自分のやりたいことについて、自分の中に明確な質問がないままワークを続けてみましたが、はっきりとした方向性が見えてこず、今は一旦ワークはお休みしています。やはり自分の中の質問がふらふらしてるときは、明確な道筋が見えてこないのかなと感じています。(Y.K)

◇「パーソナリティーのコース」を受講して

初めてダマヌールのセミナーに参加したのは3年前。「もう死んでしまうかもしれない。自分の体感腐ったリンゴ。」でも、「何とかしなければ」という生への思いがあり、いろいろなセミナーに参加したり、マクロビデトックスをやったりして体調を整えている時だった。ダマヌールに出会ってから、根本的な人間の姿のイメージが変わった。そのお陰で、自分の生き方が変わり、自分の魂が求めている事が発見できた。

パーソナリティーのセミナーは、自分に中のいろいろな特性を引き出すための仕掛けが面白い。自分のパーソナリティーを見ていくと、いろいろなタイプの人格が自分の中にいることに気づく。ゲシュタルト心理療法を過去に学んだことがあったので、3~4のパーソナリティーは自覚していた。しかし、2度のセミナーへの参加で、自分が気がついていないパーソナリティーが何人も居ることを知った。自分のパーソナリティーが調和してくると、宇宙の中のすべてが自分と分かるようになるそうだ。

1回目のパーソナリティーのセミナーでは、地味な黒のスーツで参加したのを今も覚えている。今回は鬱のパーソナリティーは影を潜め、外交的な自分を発見した。今後の人生の助けになる新たなパーソナリティーを見つけ勇気づけられた。新しい変化に自分の細胞一つひとつが喜んでるのが分かる。

発見したパーソナリティー達は、現在形成中のパーソナリティーの応援団となっている。これまで、自分は価値が無い。できることは平凡。傷つくを恐れて殻が厚く孤独。そんな暮らしであったが、自分の中のパーソナリティーを知るにつけ、人間や自分のキャパシティの大きさを知るようになった。

ダマヌールの世界観は、狭い日本や地球、宇宙すらを超えて、広大な世界観がベースにあり、そこからいろいろなセミナーに発展しているのが面白いと思った。(K.M)

来日セミナー講師紹介



アンティロペ・ヴェルベナ
(Antilope Verbena)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールのスピリチュアルヒーラー。20年以上に渡り、ダマヌールのスピリチュアルヒーラーの学校の運営指導に関わる。セルフ学の研究によって実現したセルフイックなキャンピングを使ったヒーリングやセルフイックなペンデュラムの専門家であり、健康問題の解決に向けた的確なアドバイスには定評があります。また、時に関する研究者で、タイムトラベルやスペーストラベルの実験を行っていた時期は、自ら信じがたい体験も持つ。

また、時に関する研究者で、タイムトラベルやスペーストラベルの実験を行っていた時期は、自ら信じがたい体験も持つ。



フェニーチェ・フェルチェ
(Fenice Felce)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。秘教的物理学・ダウジング・インナーハーモニゼーション・セルフ学的催眠療法・アストラトラベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。その豊かな研究体験と深い理解と幅広い知識にあふれた講演は常に多くの参加者を魅了してやみません。

来日セミナースケジュール 2019年7月以降

2019年7月～9月のミニ講演会

- ★【古代エジプトのミステリー】
in 名古屋 ミニ講演会
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：7月11日(土)
時間：18:30～20:30
場所：ウインクあいち 1108号室
交「名古屋駅」より徒歩5分
参加費：3,000円

2019年9月ワンデイセミナー

- ★【植物の叡智
～宇宙における植物の重要な役割と人類との絆～】
in 神戸 ワンデイセミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：9月14日(土)
時間：10:00～18:00
場所：神戸市内
参加費：20,000円

2019年11.12月のセミナー

- ★【宇宙の惑星の文明
～さまざまな惑星にさまざまなエイリアンの文明が
発達している事実を信じますか?】
in 東京 ワンデイセミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日時：11月17日(日) 10:00～18:00
場所：東京都内

- ★【セミテンポラーレ I レベル】
in 名古屋 2日間セミナー
過去の記憶を書き換え、時間のタネによって、
現在の人生と未来を変容させる
ダマヌール独自のマジックなテクノロジーです。
講師：アンティロペ・ヴェルベナ
開催日：12月7日(土)8日(日)
時間：10:00～18:00
場所：ウインクあいち
*アンティロペの
個人セッションも
予定しています。

フェニーチェ・フェルチェ 個人セッション

各セミナー会場では、フェニーチェの個人セッションを受けることができます。ヒーリングは3名以上の場合、よりパワフルなグループヒーリングになります。リーディングは、一人1時間 通訳付。いずれも要予約。詳細はお問合せください。

ダマヌール日本は、世界中にあるダマヌールのセンターの一つとして、持続可能な社会を実現するための情報、より良く生きるための精神的な知識やヒーリングを日本にもたすために1999年より活動しています。

来日セミナー・現地体験セミナー等の開催 / メールマガジン・ニュースレターの発行 / ダマヌール関連書籍やCDの紹介 / クラシックセルフの紹介 / ダマヌールのヒーリング / 樹の意識の活性化 / ダマヌールを知る会・セルフティックペインティングを観る会等の開催

2019年7月～9月のセミナー

- ★【夢の道 I】 in 名古屋 2日間セミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：7月20日(土)21日(日)
時間：両日とも 10:00～18:00
場所：ウインクあいち 20日1109号室
21日1308号室
交「名古屋駅」より徒歩5分
参加費：40,000円 (事前振込 39,000円)

- ★【インナーハーモニゼーションⅢレベル】
in 京都 2日間セミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：9月28日(土)29日(日) レベルIとII
修了者対象
時間：両日とも 10:00～18:00
場所：関西セミナーハウス(修学院きらら山荘)
参加費：40,000円(事前振込39,000円)
* 関西セミナーハウスにて宿泊可。料金別途

2019年10月以降のセミナー

- ★【ペンシエーロ ラテラーレ】
in 名古屋 2日間セミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：10月12日(土)13日(日)
時間：両日とも 10:00～18:00
場所：ウインクあいち 1208号室
参加費：40,000円(事前振込 39,000円)

- ★【過去生リサーチ】
in 京都 1泊2日のセミナー
講師：フェニーチェ・フェルチェ
開催日：11月9日(土)10日(日) 申込締切
9月1日
時間：9日10:00 開始
10日18:00 終了予定
場所：関西セミナーハウス(修学院きらら山荘)
参加費：60,000円
*ダマヌールでの事前調査費を含む
* 関西セミナーハウスにて宿泊。料金別途

《関西セミナーハウス交通案内》

叡山電鉄「修学院駅」下車徒歩15分
または、地下鉄烏丸線「北山駅」からタクシーで10分。

● お問合せ・お申込み先

ダマヌール日本神戸センター
0798-23-9161
damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp
ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル
052-683-8233
jpostal@crux.ocn.ne.jp

HP : www.damanhur.jp

FB : <https://www.facebook.com/damanhur.jp>

メールマガジン毎週配信中! お申込みはHPから

ダマヌールのコミック「記憶のトランク」より (8)

シンクロニックラインの調査は続きます。そして…

① マチュピチュ、ペルー

ここに来られて本当にうれしいよ。なんとマジックな場所なんだ!

イタリアに残っている人たちと一緒に夏至の儀式ができなかったことだけは残念だな。

心配しないで、いずれにしても私たちはつながっている…

そのとおり:イタリアにいる人が夏至を祝っていたときに…

…ペルーでは、オベルト、エウジェニオ、アンジェラと他の人たちが冬至を祝っていました。

②

しかしマジックな場所は家にずっと近いところにもあるのです…バルディツェロ カナヴェーゼ、ブラマルツォの集落、ダマヌールの何年も前のこと。

ストッ… ストッ

ストッ!!

この土地から何かいいものがいつか出てくるだろうか?

ふう、寝るとしよう。

目覚めなさい、目覚めなさい、私といらっしやい…

あなたに見せたいものがあります。

③

この土地は特別です。全部買いなさい。いつかここに誰かがやって来て新しい文明を築くでしょう。

彼は叫びました:
「(以下省略)昨夜はなんて夢を見ちゃったんだ!」

BOJIA FAUST CHE SOGN CA L'HAI FAT STA NOUCH!!!
*ピエモンテ語

MAI PI MANGE SIULA E FASO!
*ピエモンテ語

彼は付け加えました:
「玉ねぎとインゲン豆はもう食べちゃだめだな。」

④

この地域で、シンクロニックライン上のふさわしい場所を探す時が来た。ちょっとした考えがあるんだが…

行って、実行しました(やばいいつもどおり)。

しかし、なんて奇妙な場所なんだ! あの丘がどんなふうに光っているか見てごらん。

この谷は鉱物が豊富だったことは知ってるよ。きらめいているあれは雲母にちがいない。

到着したよ!すばらしいだろ!?

まあ、本当に…

来ましたよ!
今だったか!どれだけ時間がかかったんだ!何年もあんたたちを待っていたよ…

ここにはすごく重要なシンクロニックラインの結び目がある。実に4本もが出会っているんだ。

本当に? この場所?

そのとおり!新しい文化、新しい文明のゆりかごになる街をここでつくろう。

次号、そしてダマヌールの建設が始まります…